

令和4年度第3年次編入学小論文試験

(試験時間 90分)

畜産科学課程：ユニット共通課題

農林水産省の「食料自給率・食料自給力指標」によると2019年の日本の食料自給率はカロリーベースで38%であり、大量の食料を海外からの輸入に依存している。大量の食料を輸入ということは、輸入先国の水資源を使って作物の栽培や家畜の生産が行われていることでもあり、間接的に大量の水も輸入していることを意味する。このような水をバーチャルウォーター（仮想水）といい、日本は年間で640億 m^3 のバーチャルウォーターを輸入している¹⁾。この量は日本国内の農業用水使用量546億 m^3 を上回る量である²⁾。その一方で、水源需要の拡大や世界人口の増加、気候変動によって水不足が悪化しており、世界人口のほぼ3分の2に相当する40億人が物理的に水の不足している地域に暮らしている³⁾。このように私たち日本人の食生活は、水利用の世界的な不均衡の上に成り立っている。そこで、①『このような水利用の世界的な不均衡によって生じている、あるいは今後生じる可能性がある問題を具体的に説明しなさい』。加えて、②『①の問題にどのように対処すべきか、あなたの考えを述べなさい』。なお、①と②の両方を併せて1,000字程度で論じなさい。

引用資料

- 1) 東京大学生産技術研究所 沖 大幹 資料, 2002; <http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/Info/Press200207/>
- 2) 日本の水資源の現況, 国土交通省, 2021
- 3) 隠れた水 世界水の日報告書 2019, WaterAid, 2019